

WEBファシリテーターをしました

名古屋工業大学の3研究室がWEB上での合意形成システム COLLAGREE の社会実験を行いました。そこにファシリテーターとして参加しました。

☆COLLAGREE? www.collagree.com

名古屋工業大学の秀島教授（土木計画）、伊藤孝行准教授（情報工学）、伊藤孝紀准教授（デザイン工学）の3研究室が開発した、場所や時間にとらわれないWEB上の合意形成システムです。

今回は2度目の社会実験。テーマは、「ナゴヤのまちを考えてみよう」。名古屋市総合計画中間案について、WEBで広く意見を募るという試みでした。もちろん、COLLAGREE で出た意見もまとめて名古屋市に提出します。



☆WEBでのファシリテーター

今回のCOLLAGREEでは(特活)日本ファシリテーション協会の「協力」を得ること、ファシリテーターの取りまとめ、WEBファシリテーターの3役を務めました。期間は約2週間。広く意見を募る「発散」を促すところから、最後の3日間の「収束」の段階まで、担当項目で毎日最低1時間はWEBファシリテーターをしました。

☆ふりかえり

対面でワークショップを進めるのとは、違ったスキルが必要だと実感しました。

例えば、

- ・ 深堀したいときはファシリテーターが詳細な事柄をイメージして、これでいいのかと確認する
- ・ 専門的な単語、略語などは、ファシリテーターが調べて、確認するなど、スレッドの書き込みが止まらないような試行錯誤をしました。

URLを貼りつけてくださるので、正確な情報を共有することができると実感しました。

*ファシリテーターの重要性やスキルの高さを知らせていただきたいへん貴重な機会ともなりました。先生方からお褒めと感謝の言葉をいただきました。